

令和 6 年度京都府自殺対策推進協議会

1 日時・場所

日時：令和 6 年 9 月 20 日（金）15 時～16 時半（ハイブリッド）

場所：京都 JA 会館会議室 107

2 出席者

（1）委員（24 名中 20 名（Web:15 名、現地:5 名））

○会場：河瀬委員、三木委員、本郷委員、小林委員、平田委員

○Web：黒川委員、武田委員、土淵委員、家村委員、金山委員、浅井委員、廣谷委員、
伊藤委員、尾角委員、根本委員、彌榮委員、寺内委員、近藤委員、
小笠原委員（代理：山田健康安全課主任地方労働衛生専門官）、香月委員（代理：牧課長）

（2）京都府

○会場：東江健康福祉部副部長、杉本課長、宮村参事他 計 5 名

○Web：教育庁学校教育課（菊本統括指導主事、寺町指導主事）、
障害者支援課（八尾課長補佐兼係長）、丹後保健所（小池氏） 4 名

3 議事等

（1）京都府の自殺の現状について

○ 事務局から資料 1 に基づき説明

（2）京都府自殺対策推進計画（第 2 次）に基づく施策の実施状況

○ 事務局から資料 2-1、資料 2-2 に基づき説明

（3）京都府若年層向け相談啓発動画及びライフ in 灯 2024 の実施報告

○ 事務局から参考資料 1、参考資料 2 に基づき説明、動画視聴を実施

（4）質疑・主な意見

- 自殺対策カレッジ会議参加学生で GK 養成研修につながった学生はいるか。
- R5 年の自殺者では 50 代多かったが、その原因分析と結果を受けての対策はどうか。
- 自殺統計の周知先はどこか。
- コミュニケーション事業の実施校の選定と今年度の予定はどうなっているか。
- 現場の先生向けに、子どもの SOS を受け止める研修などの開催予定はどうか。
- 学校教育課の行う子どもの SNS 相談の実績や内容はこういったものか。
- 一般病院と救急病院との連携の現状はどうか。
- 生活困窮の相談具体的な連携先と連携方法はどうか。
- 自殺ストップセンターの連携対応の実際はどうか。
- SNS 相談廃止の理由は何か。

- 若者視点をいれるため本協議会へ参加を促してはどうか。
- 働き世代への企業へのメンタルヘルスチェックの推進状況はどうなっているか。
- SOS を出しにくい方への支援や繋げ方を工夫したい。
支援者のなかにも SOS を抱える人がいるのを忘れずに関わる必要がある。
- スクールソーシャルワーカーの全校配置となっておらず、学校が随時相談できない。
SSW の配置を改善するとよいかと思う。

(5) その他

- 令和 7 年度は自殺対策推進計画の改定年度であることを告知し、引き続き助言協力を依頼した。

(以上)